



決勝レポート

2022/4/24 Rd-3 SUZUKA circuit

天候：雨 気温：17℃ 出走台数：21台

観客数：23日(土)6,000人 24日(日)10,000人 合計16,000人

決勝レースを迎えた Rd3 鈴鹿サーキットは雨天。スタート時点で降り続く雨と共に、気温も 17 度と、予選が行われた昨日とは全く違う状況の中、レースはスタートの時を迎える。

牧野選手は好スタートを決め、2 台をかわして 3 番手で 1 コーナーへ。一方の大津選手は蹴り出し良かったもののホイールスピが多かったか加速が伸びず 3 ポジションダウン。牧野選手 3 番手、大津選手 10 番手でオープニングラップを周回した。

牧野選手は、毎ラップ 2 番手との差を詰め、7 周目の逆バンクコーナーでオーバーテイク。2 番手に上がると、12 秒前を走る首位野尻選手との差をじりじりと詰める、同時に 3 番手走行の松下選手のプレッシャーも受ける展開、ここから終盤まで膠着状態が続く。雨量が少なくなった残り 10 周を迎えるころには、後方松下選手と激しいバトルを繰り広げながらも、野尻選手を射程内にとらえる。残り 5 周となったシケインで松下選手に先行をゆるした牧野選手は、最後まで 2 位を追うが届かず 3 位。表彰台フィニッシュとなった。大津選手は、10 周目に一つポジションを上げた後、7 番手争いの集団の中タイヤをマネジメントしながらチャンスを待つ展開。残り 10 周時点で 8 番手までポジションを上げ、更に上位を目指したが 8 位ポイント獲得でレースを終えた。

5：牧野任祐 3 位 HONDA 勢 3 位

スタートはとても良く、3 番手までポジションを上げることが出来ました。チームから、雨量が少なくなっているのでタイヤをセーブするよう指示もあり、タイヤマネジメントしながら、後半の勝負に向けトップとのタイム差を詰めていました。トップ 3 台は皆タイヤが苦しい状況で、松下選手との攻防もあって難しい展開でしたが、クリーンなバトルの中、守りに入ることなく攻め続けた結果ですので悔いはありません。でもやっぱり悔しいですね。シーズンを考えれば 3 位という結果は悪くありません。続くオートポリス、菅生と、得意なサーキットが続きますから、着実に前進したいです。

6：大津弘樹選手 8 位 HONDA 勢 4 位

スタートの失敗が大きかったです。スタート後序盤はウォータースクリーンで前が見えず、しかし中盤以降はレースペースも良く数台をオーバーテイクできました。何とかポイントを獲得出来たのは良かったです。

今の課題は予選でのパフォーマンスアップです。チームとして得意とするオートポリスに向けて、牧野選手やチームの過去データも検証し前半 3 戦のビハインドを取り戻したいと思います。